

二〇二一年度

早稻田大学大学院文学研究科

入学試験問題

【博士後期課程】

専門科目

中国語中国文学コース

※解答は別紙(縦・横書)

【問一〜四の回答順は自由でよいが、必ず問の番号を記してから答えること】

問一 次の十五項目の中から十項目を選び、簡潔に説明せよ。(時代の分かるものは必ず時代を記すこと)

ア 喉音 イ 初学記 ウ 北京折疊 エ 太平廣記 オ 臨界期仮説
 カ 蕭紅 キ 南雜劇 ク 陳望道 ケ 王孟韋柳 コ 公案小説
 サ 郝彪佳 シ 『人間世』 ス 神韻派 セ 六十種曲 ソ コミュニカティブメソッド

問二 次の文を読んで、以下の問いに答えよ。

九齡在相位、有蹇諤匪躬之誠。明皇既在位久、稍怠庶政、每見帝、極言得失。李林甫時方同列、隱欲中之。將加朔方節度使牛仙客實封、九齡稱其不可、甚不叶帝旨。他日林甫請見、屢陳九齡頗懷誹謗。于時方秋、帝命高力士、持白羽扇以賜、將寄意焉。九齡惶恐、因作賦以獻。又為燕詩以貽林甫。曰、海燕何微眇、乘春亦暫來、豈知泥滓賤、只見玉堂開、繡戶時雙入、華軒日幾廻、無心與物競、鷹隼莫相猜。林甫覽之、知其必退、恚怒稍解。九齡泊裴耀卿罷免之日、自中書至月華門、將就班列。二人鞠躬卑遜、林甫處其中、揚揚自得。觀者竊謂、一鵬挾兩兔。

『唐詩紀事』卷十五「張九齡」

【注】蹇諤匪躬：正直而不顧自身。實封：古代封建國家名義上封賜給功臣的食邑。

(1) 全文を日本語に訳せ。

(2) 傍線部「持白羽扇以賜、將寄意焉」の含意を説明せよ。

問三 次の文の傍線部①②を日本語に訳せ。

【女冠子】①〔且上〕一尖巾幘、自送高堂風燭、儼居空谷。明珠交與侍兒、賣了歸補茅屋。黃姑相伴宿、共幾夜孤燈、逐年餽粥。瘦消肌玉、翠袖天寒、暮倚修竹。

【江城子】依稀猶記媼和翁。珠在掌，恁憐儂。一自雙榆零落五更風。撇下海棠誰是主？杜鵑紅。生來錯習女兒工。論才學，好攀龍。管取挂名金榜領諸公。若問洞房花燭事，依舊在，可從容。妾身姓黃，乳名春桃，乃黃使君之女，世居西蜀臨邛。年方十二，父母相繼而亡，既無兄弟，又不曾許聘誰家。況父親在日，居官清謹，宦囊蕭然。妾身又是女流，經營不慣，以此日就零替。與舊乳母黃姑，暫典本縣西鄉化城山中所小房兒住下，不覺又是八年。②且喜這所在澗谷幽深，林巒雅秀，森列于明窗淨幾之外，默助我拈毫弄管之神。既工書畫琴棋，兼治描鸞刺繡。寶珠雖盡，補屋尚餘。計綾償工，授粲粗給。但細思此事，終非遠圖，總救目前，不過劫劑。咳，倒也不是我春桃賣嘴，春桃若肯改粧一戰，管倩取唾手魁名。那時節食祿千鍾，不強似甘心窮餓。

(明・徐渭『女狀元辭凰得鳳』第一齣)

【注】送高堂風燭：指父母逝世。

儼：租賃。

餽粥：稀飯。

儂：我。

攀龍：隨帝王建功立業。

宦囊蕭然：

宦袋空空。

零替：衰落。

授粲粗給：粗可溫飽。

劫劑：勉強維持。

問四 次の文を読んで、以下の問に答えよ。

- (1) 「」で囲まれたA・B・Cの部分を日本語に訳せ。
- (2) 波線部①②の現代中国語音をピンインで記せ。(声調符号も含む。横書きすること)

※この問題は、著作権の関係により掲載できません。

王安忆《舞台小世界》より

(《王安忆 (中国当代作家选集丛书)》人民文学出版社, 1995年)

受験番号	
氏名	

この欄以外に受験番号氏名を書かないこと。

——ここから記入すること——

科目名
中国語中国文学コース
専門

総 点

--

(裏へ続く)

——これより先の余白には絶対に記入しないこと——

(次頁へ続く)

——ここから記入すること——

中国語中国文学

Blank lined area for writing.

—これより先の余白には絶対に記入しないこと—

Blank lined area for writing.

—これより先の余白には絶対に記入しないこと—